

2. 当該年度の主な事業

教育・研究条件の充実

3,186,317 千円

特色ある教育の充実をはかるために、教育・研究をより推進しました。

大学・短大部門では、教学マネジメントの確立に重要な「兵大BasicsABC」、「兵大プロフェッショナル力」を構築し、今年度は「IR推進室」を設置したことで、学生情報が統合され「学びのカルテ」や「ディプロマサプリメント」を配付し、学びの可視化が可能となりました。また、コロナ禍でのオンライン授業となりましたが、滞りなく授業展開ができ、学習ポートフォリオ、ルーブリック評価のデータ蓄積が可能となりました。

学生等福利厚生の充実

計 565,157 千円

・奨学金の充実

535,192 千円

経済的理由により修学が困難な学生及び学業ならびに課外活動等で優秀な成績を修め、就学意欲の顕著な学生等に給付した奨学金です。

大学・短大部門では、オンライン授業の準備資金として、全学生に一律50,000円を支給しました。

・学生助育及び福利厚生

25,896 千円

活躍めざましい課外活動への補助、あるいは新入生のオリエンテーション、学生等の健康管理等、在学生活の充実体制を整えた費用です。

・キャリア教育支援

4,069 千円

就職支援、資格取得を重点課題として積極的に取り組んだ費用です。

教育環境の充実

計 402,362 千円

施設・設備の充実は在学生活を豊かにするという基本理念のもと、今後も本学園の歴史を未来に活かし、交流の場となるキャンパスづくりを推進するため、逐次充実を図っています。また、新型コロナウイルス感染症対策として、空間除菌脱臭機等の導入により感染防止を図りました。

大学院現代ビジネス研究科では「東京サテライトオフィス」を令和3年度に開設します。

須磨ノ浦高等学校は「ICT」教育に対応して、校内通信ネットワークの整備等、電子黒板の配置を行うと共に、全教室の机・椅子の入替えを行いました。

神戸国際中学校・高等学校では、新入生に、1人1台のノートパソコン配布を行い、中学棟全教室に電子黒板を導入し、また、机・椅子の入替も行いました。

特に机は「ICT」授業の対応可能な特別サイズの机を導入しました。

地域に開かれた学園づくり

23,124 千円

地域に対し、「地域に愛される陸」「質を重視する陸」を目指して、自治体・企業・地域住民等に向け、全学的に推進している共同研究、公開講座、公開授業等を広く社会にアピールした費用を含んでいます。

大学では、「エクステンション・カレッジ」の公開講座をオンライン化で実施し、リカレント教育を中心とした加古川ヤマトヤシキ（JR加古川駅前）でのリカレント講座を展開しました。

国際交流の充実

1,578 千円

海外の学校との交流や海外研修制度の充実など、教育の国際化を積極的に推進した費用です。

志願者数の確保

135,469 千円

安定した学生等確保の対策を強化し、より教育研究の向上を目指しました。

学校案内、広告料並びに、入試説明会・オープンキャンパス・個別校訪問、入学予定者対象の「フォローアッププログラム」や附属須磨ノ浦高等学校の兵庫大学附属校化プロジェクトなどを行った費用を計上しています。